

平成 30 年度 『原価計算』 シラバス (2 年会計科)

校長		教頭		
----	--	----	--	--

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
原価計算	4	2	全	必修	会計科

1 概要及び目標

- (1) 製造業における原価計算の基本的考え方と計算方法及び工業簿記の記帳法を習得させ、原価についての理解を深める。
- (2) 原価を中心とする会計情報を活用する能力及び態度を育てる。

2 使用教科書・教材

- ・教科書：原価計算（実教出版）
- ・副教材：反復式 学習と検定 原価計算問題集（実教出版）

3 授業の展開と形態

2クラスのホームルームを習熟度別で3クラスに分けての一斉授業。

4 学習方法

- (1) 授業の始めの段階で、原価の意味とその要素の分類及び原価計算の目的や意味、手続きといった原価計算の概要を説明し、製造業における経営活動と原価計算の手続きに基づいて行われる工業簿記の仕組みを学習した後、展開をしていく。
- (2) 日頃の学習成果を試すために定期考査を行い、レベルアップを図る。
- (3) 定期的に小テストを実施して学習の定着を確認しながら授業を進めていく。

5 成績評価

以下の4点を総合的に評価する。

- (1) 定期テスト・小テスト等・・・適宜小テストや学期ごとに中間考査・期末考査を実施する。
- (2) 提出物・・・授業の進度に応じ、自宅学習として課したのものや、長期休業中（夏季・冬季）の課題について提出させる。
- (1) 授業態度・・・参加の意欲、発問や学び合おうとする主体的な姿勢を評価する。

定期テスト・小テスト等 70%	提出物 15%	授業態度 15%
--------------------	------------	-------------

6 その他（履修上の注意）

- (1) 教科書、問題集、筆記用具（ノート、鉛筆、赤ペン、定規、マーカーなど）、計算用具（電卓）の準備をきちんとすること。
- (2) 欠席した場合は、その時間の学習内容とプリントや課題の有無を、次時まで各自で確認すること。

7 観点別評価の趣旨

評価の観点・内容		評価の方法
関心・意欲・態度	製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得をめざして実践しているか。	・観察 ・授業態度
思考・判断	各種の原価計算の方法や記帳法について、その仕組みを理解し、自ら考え判断し処理する事ができるか。	・観察 ・練習問題 ・小テスト等 ・定期テスト
技術・表現	製造業における原価計算表や帳簿、決算処理を合理的、能率的、性格的に記帳する知識と能力を習得する事ができるか。	・観察 ・演習問題 ・小テスト等 ・定期テスト
知識・理解	製造業における原価計算手続きについての基礎的・基本的な知識を身につけているか。	・観察 ・演習問題 ・小テスト等 ・定期テスト ・検定試験

8 簿記学習指導計画

第I編 工業簿記と原価計算

月	単元	学 習 内 容	時間	単元のおもな目標	実習・演習・教材等	評価方法等
4	第1章 ける簿記と原価計算 製造業にお	①製造業と簿記 ②工業簿記と原価計算	2	①商品売買業と製造業の経営活動の違いや製造業において摘要される工業簿記と商業簿記の違いを理解させる。 ②原価計算と工業簿記との密接なつながりを理解させる。	・オリエンテーション	・観察 ・問題集
	第2章 原価と原価計算	①原価の意味 ②原価要素の分類 ③原価計算の目的 ④原価計算の手続き ⑤原価計算期間 ⑥原価計算の種類	1 1 1 2 1 1	①製造原価と総原価、この二つの意味をもつ原価及び、原価に含まれない非原価項目の意味を理解させる。 ②原価を構成する原価要素を、3つの観点別に分類する方法を習得させる。 ③原価計算のもつ4つの目的について理解させる。 ④原価要素を分類し、製品別に集計するまでを段階的に計算していく原価計算の手続きを理解させる。 ⑤製造業で使用される原価計算期間とその理由について理解させる。 ⑥生産形態や原価計算を行う目的の違いによって分類した原価計算の種類について理解させる。	・プリント ・練習問題	・問題集
	第3章 る簿記の特色としくみ 製造業にお	①製造業と簿記 ②製造業における特有な勘定	1 1	①製造業における簿記の特色を理解させる。 ②材料・労務費・経費といった製造業における特有な勘定について理解させる。	・練習問題 ・プリント ・小テスト	・観察 ・提出物 ・単元テスト

第II編 原価の費目別計算

月	単元	学 習 内 容	時間	単元のおもな目標	実習・演習・教材等	評価方法等
5	第1章 材料費の計算と記帳	①材料費の分類 ②材料の購入と記帳 ③材料の保管 ④材料の出庫と記帳 ⑤材料消費高の計算	2 2 2	①材料の分類および材料の仕入、保管、払出消費における計算と記帳法を習得させる。 ②材料元帳の記帳法及び払出方法を習得させる。 ③予定価格を用いた貸金消費高と材料消費価格差異の計算方法を習得させる。また、消費材料勘定を用いた方法と用いない方法それぞれの仕訳の仕方および各勘定への記帳法を習得させる。	・プリント ・練習問題 ・小テスト	・観察 ・単元テスト
	第2章 労務費の計算と記帳	①労務費の分類 ②賃金支払高の計算と記帳 ③賃金消費高の計算と記帳	2 2	①労務費の分類及び賃金の支払、消費における計算と記帳法を習得させる。 ②予定賃率を用いた賃金消費高と賃率差異の計算方法を習得させる。また、消費賃金勘定を用いた方法と用いない方法それぞれの仕訳の仕方および各勘定への記帳法を習得させる。	・プリント ・練習問題 ・小テスト	・観察 ・単元テスト ・中間審査
6		④賃金以外の労務費の計算と記帳	2	③賃金以外の労務費の分類とそれぞれの消費高の計算方法を習得させる。		

月	単元	学 習 内 容	時間	単元のおもな目標	実習・演習・教材等	評価方法等
6	第3章 の計算と記帳 経費	①経費の分類	2	①経費の分類および消費高の計算と記帳法を理解させる。	・プリント ・練習問題 ・小テスト ・総合問題	・観察 ・単元テスト
		②経費消費高の計算 ③経費消費高の記帳	1			

第Ⅲ編 原価の部門別計算と製品別計算

月	単元	学 習 内 容	時間	単元のおもな目標	実習・演習・教材等	評価方法等
6	第1章 個別原価計算	①原価計算と原価計算表 ②原価計算表の記入	1	①個別原価計算の手続きの流れおよび製造指図書番号ごとの原価計算表への記入法及び完成した製造指図書の製造原価を集計し、締め切る方法を習得させる。 ②完成原価を製品勘定に、未完成品はその原価を月末仕掛品として次月繰越として処理する方法を理解させる。	・練習問題 ・小テスト	・観察 ・単元テスト ・期末テスト
		③原価計算表と製造勘定 ④製造間接費の配賦 ⑤製造間接費の予定配賦 ⑥仕損品の処理 ⑦作業くずの処理	1 2 2 2			
7	第2章 の部門別計算 原価	①部門別計算の意味 ②原価部門の設定 ③部門別計算の手続き	2 2	①部門別計算及び製造部門および補助部門の意味を理解させる。 ②部門別計算の手続き、集計、部門費配分表の記帳法を理解させる。	・練習問題 ・小テスト	・単元テスト
		①総合原価計算 ②総合原価計算の種類 ③単純総合原価計算	2 2			
9	第3章 総合原価計算	④等級別総合原価計算 ⑤組別総合原価計算	3 3	③等級別総合原価計算の手続き、等価係数に応じた製造原価の計算方法および記帳法を理解させる。 ④組別総合原価計算を配賦基準を元に各組に配賦する方法を理解させる。	・練習問題 ・小テスト	・単元テスト
		①工程別総合原価計算 ②加工費工程別総合原価計算	2 2			
10	第4章 原価計算 工程別総合	③副産物などの評価	2	③製造過程から生じる副産物の評価及び処理方法を理解させる。	・練習問題 ・小テスト ・総合問題	・単元テスト

第Ⅳ編 製品の完成・販売と決算

月	単元	学 習 内 容	時間	単元のおもな目標	実習・演習・教材等	評価方法等
10	第1章 完成と販売 の 第2章 工場会計 本社	①完成品の受け入れ ②製品の販売 ③販売費および一般管理費	2	①製品の完成と販売に伴う手続きと記帳法を理解させる。 ②製造原価と販売費および一般管理費の違い、処理方法を理解させる。	・練習問題 ・小テスト	・単元テスト ・中間テスト
		①工場会計の独立（工場元帳制） ②取引の記帳方法	3			

月	単元	学 習 内 容	時間	単元のおもな目標	実習・演習・教材等	評価方法等
10	第3章 製造業の決算	①決算の手続き ②月次決算と年次決算 ③会計期末における原価差異の処理 ④財務諸表の作成	2	①年次決算に加え、製造業で行われる月次決算の必要性と手続きの方法および会計期末における原価差異の処理法を理解させる。	・練習問題 ・小テスト	・観察 ・単元テスト
11			2	②製造業の決算には、商品売買業において作成される財務諸表に加え作成される製造原価報告書の作成方法を理解させる。		

第V編 原価情報の活用

月	単元	学 習 内 容	時間	単元のおもな目標	実習・演習・教材等	評価方法等
11	第1章 原価計算 と標準 原価管理と標準	①原価管理と標準原価計算の意味 ②標準原価計算の手続き ③原価標準の設定 ④標準原価の計算 ⑤実際原価の計算 ⑥原価差異の計算と分析 ⑦標準原価計算の記帳方法	2	①標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。	・練習問題 ・小テスト	・観察 ・単元テスト
			2	②標準原価計算の設定および計算方法を理解させる。		
			2	③原価差異の計算方法とその分析方法、および記帳法を理解させる。		
12	第2章 利益計画 と直接原価計算	①利益計画と直接原価計算の意味 ②直接原価計算の手続き ③損益分岐点（CVP分析）	2	①利益計画の必要性を理解させ、直接原価計算の意義と特色、必要性を習得させる。	・練習問題 ・総合問題	・観察 ・単元テスト ・期末テスト
			2	②損益分岐図表による売上高・原価・利益の関係を理解させる。		
1	検定対策	日商簿記検定2級対策	12	日商簿記検定2級の工業簿記の範囲を網羅し、問題形式ごとに問題を解かせ、苦手分野を集中的に学習し、習得させる。	・検定試験問題集 ・練習問題	・観察 ・試験問題 ・単元テスト
2	検定試験対策	日商簿記検定2級対策	12	模擬試験を行い、制限時間以内に検定試験合格ラインまで点数を取れる技術を習得させる。	・練習問題	・観察 ・試験結果 ・期末テスト
3	日商簿記1級	①原価計算の目的と管理会計 ②原価・営業量・利益関係の分析	2	①管理会計と原価計算の目的を理解させる	・練習問題	・観察
			9	②営業量の意味及び利益の概念および関係を理解させ、分析を行う知識と技能を身につけさせる。		